

事業計画書

事業名	旧沼津城大手櫓（やぐら）門の平面パネル展示での再現
実施場所	沼津市中央公園、千本プラザ、静岡県立沼津工業高校
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 令和5年4月1日～令和6年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

沼津史談会の資料への協力を得ながら、静岡県立沼津工業高校で培われた「アーチ」と呼ばれている同校体育大会各科応援用の平面パネル描画展示のノウハウを用い、同校同窓会の協力を得て、中央公園に作成展示、そののち、千本プラザ展示、沼工展示を計画。

併せて、地域自治会、商店会、観光ボランティアの会などの協力を得て、広く市民に公開し、商業やまちおこしに資する。アドバイザ会議での「幅広に展開」とのサジェスチョンを受け、城が沼津の発展に果たしてきた役割の明示も含める。

最大限、令和4年事業の資産を用い、コスト低下させ、旧沼津城にあった大手櫓門を縮尺二分の一の約5m×7mで描画再現し、これを当該の大きさの建築用足場で組立て、各モジュールを番線締結で掲示する。市民や沼津を訪れた人々に見ていただき、目的に資する。

なお、錯視を利用した描画を取り入れるとともに、江戸時代の鉄砲隊による演舞も計画。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

これまで、沼津に城が存在したことは沼津史談会や各博物館展示などで広く知らされ、義務教育の一環としての郷土への関心を育む教育は行われてきた。

しかし、令和4年度「旧沼津城二重櫓（やぐら）の平面パネル展示での再現」でも、「沼津は城下町だったのか」というような歴史認識も多いことを感じている。学校教育の郷土史学習だけでなく、大人にも関心を抱いてもらうための、令和4年度に引き続き、ある程度大がかりな展示によってアピールし、沼津の文化・歴史的意義を喚起したい。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目										
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。 具体的な日付は関係機関との今後の打ち合わせにより決定される。										
	<table border="0"> <tr> <td>描画準備</td> <td>令和5年4-7月</td> </tr> <tr> <td>パネル描画</td> <td>令和5年8-9月</td> </tr> <tr> <td>中央公園設置と展示</td> <td>令和5年10月（3日間）</td> </tr> <tr> <td>沼工展示</td> <td>令和5年11月（2日間）</td> </tr> <tr> <td>千本プラザ展示</td> <td>令和5年12月（7日間）</td> </tr> </table>	描画準備	令和5年4-7月	パネル描画	令和5年8-9月	中央公園設置と展示	令和5年10月（3日間）	沼工展示	令和5年11月（2日間）	千本プラザ展示	令和5年12月（7日間）
描画準備	令和5年4-7月										
パネル描画	令和5年8-9月										
中央公園設置と展示	令和5年10月（3日間）										
沼工展示	令和5年11月（2日間）										
千本プラザ展示	令和5年12月（7日間）										
	<ul style="list-style-type: none"> ・描画する「櫓門」は沼津史談会の協力を得ながら、より実態に近いものの再現を目指し、併せて沼津の史跡なども紹介できればより好ましい。 ・商店会や観光協会などのイベント採用も目指し、単に歴史的展示にとどまらない、産業発展にも助力する。 ・中央公園での会期は、当面3日間を考慮し、中央公園イベントとの重複を避ける。 ・観覧者5,000人を当面のめどとする。（令和4年度の実績は2,000人） 										

	<ul style="list-style-type: none"> ・会場としては中央公園内とし、実際の位置はやや異なるものの、地表が露出している南西隅で行いたい。(足場仮建設に際して杭打ちが必要) ・適宜、関係者打ち合わせを実施するとともに会計責任者を選任して事業を推進する。 ・アンケート等により、効果を確認したうえで、次年度以降を計画する。 ・詳細スケジュール等は沼津市役所関係各課との別途調整による。
--	---

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。			
<p>学校教育による「郷土への関心の育み」から遺漏していた大人の沼津転入者に対する沼津への関心を喚起するために、より具体的で、ある程度の大きさを伴いながら、昨今の城閣ブームにも沿った関心を引き出すような旧沼津城大手櫓(やぐら)門の大型平面パネル展示による再現は、沼津への新たな認識や地域の歴史への誘いとなるとともに、地域商業・観光業に寄与するものとなると思料される。</p>			
成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 観覧者数	指標の検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。 観覧者数計測、アンケート

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>NHK「日本最強の城スペシャル」番組や同大河ドラマ「どうする家康」など、各地の城や静岡県での歴史が注目される中で、沼津にかつて城のあった意義を回顧できる。それにより、沼津市としてアピールができ、沼津市の利益につなげることができる。</p>
地域性	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>市民に対するパネル展示による再現で、沼津が城下町であったことを喚起でき、地域の歴史への誘いととも、地域商業・観光業に寄与できると思料。特に大人に関心を惹いてもらうためのある程度大がかりな展示によってその所期効果が発揮できると考える。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>すでに兵学校イベントや当時の再現地図作成などが行われ、一部にはジオラマ旧沼津城製作などもおこなわれているが、周知という点からは限定的であった点是否めなかった。本事業では、2年目の大型展示だけでも、より観覧者の耳目を集めることが可能と考える。</p>
発展性 ・ 継続性	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>令和4年度事業でのアンケートを踏まえて、やや大型化と、他のイベントを盛り込むことも検討し、鉄砲隊の演舞を招待することを検討している。また、令和4年度の展示では費用の点から避けざるをえなかった平置きでの展示を千本プラザで行いたい。</p>
実現性 ・ 妥当性	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>令和4年実績を基に以下の点を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沼津史談会の協力を得て、具体的な歴史資料に基づく再現の確からしさを担保。 ・静岡県立沼津工業高等学校同窓会の協力を得て、同校で昭和20年代から作成されていた「アーチ」と呼ばれる平面パネルへの描画掲示のノウハウを利用させていただき、安全な内に効果的な大型再現図で作成をやや大型化。

	<p>・沼津市役所緑地公園課に御指示をいただきながら、安全を最優先としながらの中央公園での掲示に向け折衝する。</p>
活動に対する熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>これまで代表者らは沼津史談会での活動も含め、沼津の歴史周知の活動を行ってきた。だが、限定的であった点は否めない。</p> <p>本事業はなによりも市民に広く注目してもらえる中央公園で、更に人目を惹き付ける大きさを伴った掲示であることが再び目玉となる。なによりも、昨年に続く試みとしての大型掲示だけでも市民に注目されよう。</p> <p>また、実際の大きさの二分の一の縮尺の平面パネル展示ではあるものの、実際に存在していた大手櫓門をテーマとすることで、かつての沼津城の存在がより身近なものとなることは疑いない。</p> <p>本事業は、市民への郷土史喚起にとどまらず、県内或いは日本国内で、沼津市を広く知らしめることも効果として期待できるであろう。</p>

◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p>
--

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

<p>※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。</p> <p>令和4年度事業の実見者数は約2000人で、多くからは好評とのアンケートを得た。しかし、安全対応などからやむを得ず3日として限定した。開催については期間延長による更なる周知をとの意見や、更に大型展示とした方がよいとの指摘もいただいている。</p> <p>令和4年実績に基づきつつ、アンケート結果などを取り入れ、安全が担保できる範囲内での低廉化による実施に加え、鉄砲隊演舞などのイベントの開催、会期も会場を移して3回行うことなど、令和4年事業を拡大する形で更なる効果をあげたい。</p>
--

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

<p>※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。</p>
